

港湾空港部職員からの メッセージ

ひと・ものが集う

世界につながる海の物流拠点「みなと」
そこにはさまざまな人や物が寄り添い、大きな活力が生まれます。
経済活動の一翼を担う港湾整備の重要性はますます高まっています。

職員の声

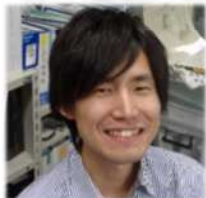
皆に誇れる仕事をしませんか!



高知港湾・空港整備事務所
港湾施設分析評価官
川瀬 弘義

当事務所では、高知県内の港湾(高知港・須崎港・宿毛港湾、室津港)や高知空港、高知港海岸の整備など、多岐に渡る事業を実施しております。
その中で、私の仕事は、高知空港や高知港海岸の事業における事前調整や発注業務を担当しております。特に南海トラフ地震により、10mを超える津波が想定されている高知港海岸では、①第一線防波堤のライン、②浦戸湾外縁部・湾口部のライン、③浦戸湾内部の護岸等のラインの三重防護の方針による地震津波対策を進めております。
私が生まれ育った町も南海トラフ地震の浸水エリアに入っていることもあり、故郷の人命・財産を守る一大プロジェクトに携われるということで、責任を感じつつ、1日でも早い完成に向け業務を実施しております。
港湾や空港等の事業についても、四国地方整備局の行う仕事は、魅力ややりがいがいっぱいです。こういったインフラ整備を通じて、皆さんに誇れる仕事を一緒にしませんか!

日々勉強、日々成長!



小松島港湾・空港整備事務所
保全課 保全係長
西岡 周平

小松島港湾・空港整備事務所 保全課では、主に港湾施設の整備を行っています。その中で私の仕事は、実際に工事を発注し、現場の監督をする役割を担っています。いわゆるモノができていく様子が最も身近に実感できる仕事であると言えます。
具体的には、波の影響を抑えることで、港内での船舶への荷物の積み卸しをより安全に行えるようにするための「防波堤」の延伸を行ったり、40年以上も前につくられ老朽化した「岸壁」(荷役などを行うために船舶を係留するための施設)の延命化を図ったりなど、色々な現場を経験させてもらっています。
現場において、私たちは「監督」する立場ですので、しっかりと知識を蓄えておく必要があります。本当に日々勉強です。その分自分の成長を大きく実感でき、とてもやりがいのある仕事であると感じています。
皆さんも是非、大きな仕事を一緒にしてみませんか!

現場は自然が相手です!



松山港湾・空港整備事務所
工事安全管理官
吉川 祐子

愛媛県西条市に位置する東予港では、現在、地震に強い岸壁の整備を進めており、私の所属する東予港出張所では、岸壁、航路、泊地の工事及び業務の監督や関係機関との調整等を行っています。
自然を相手にしているので、工事期間中に台風が襲来したり、長雨に見舞われたり、現場に動物が現れたり、想定外のことが起こります。そういった状況の中、安全第一で、迅速かつ的確な指示をしなくてはなりません。そのためには、色々な知識が必要となってくるため、日々勉強中です。経験豊富な上司や先輩方に相談し、アドバイスをもらって頑張っています。この仕事は、経験が大事なんだと強く感じています。
また、他港の事例を収集し、参考にすることもよくあります。今いる愛媛県内だけでなく、四国管内、時には全国を見ながら仕事ができるのは、四国地方整備局ならではの良さだと思います。
四国地方整備局で、広い視野で、経験を積んでみませんか!

学んだことが生かせる職場！



松山港湾・空港整備事務所
保全課 保全係長
政岡 和宏

松山港は愛媛県を代表する主要な港であり、松山空港は四国で最も旅客数の多い空港です。この愛媛県の海と空の玄関の施設整備が保全課の主な仕事です。

松山港では、港の静穏性を上げ、より使いやすい港にするための防波堤の建設、松山空港では老朽化した舗装の打ち換え工事などを行っており、私は工事の設計図作成や監督業務を担当しています。法令上の手続きや種々の施工に関する技術的な知識など、様々な知識を求められますが、土木を学んだ人にとって培ったものが最も生かされる環境と思います。

工事の施工は契約した建設会社が行いますが、私たちは、監督業務として、工事の安全や設計図どおりに施工出来ているか品質や出来形を確認する他、関係機関との調整等を行います。同時に複数の工事の監督を受け持つことがあり大変な部分もありますが、多くの工事に携われることでより広い知識や経験が得られるやりがいがある職場と思います。

発注者として多くの現場(ものづくり)に携わってみませんか！

大プロジェクトに関われる、国の仕事の魅力です！



小松島港湾・空港整備事務所
海洋環境・防災課長
堀家 正

海洋環境・防災課では、海洋環境整備船「みずき」を使って徳島沖の海洋環境の保全や船が安心して航行するために漂流物の回収を行っています。また、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時の緊急物資輸送を行う船舶の航行を確保するための航路(緊急確保航路)が指定されたことから、南海トラフ地震等の災害時には、徳島小松島港に緊急物資の輸送が行えるよう、緊急確保航路の維持・管理も担当しています。

また、大規模な地震災害が発生するたびに、インフラの重要性がクローズアップされ、仕事は大変になりますが、やりがいがあります。

国で仕事をして良かったと思うことは、大規模なプロジェクトに参加できたことや、法律や制度が社会のニーズに応じて変わっていく様を身近で感じられることです。

自称アイデアマンの私ですが、今度はあなたのアイデアをプロデュース出来る日を楽しみにしています。

海から四国を支える仕事！



小松島港湾・空港整備事務所
工務課 係員
山本 大樹

小松島港湾・空港整備事務所の主な役割は、四国の産業活動において重要な物流の拠点である徳島小松島港の整備と南海トラフ地震の津波から、人々の命を守るために鳴門市にある撫養港海岸の堤防等を整備すること、船舶の航行の安全確保、海洋環境の保全のため、海面の漂流物の回収を行う海洋環境整備などです！

私の仕事は港や海岸を整備する工事を発注するための価格を計算する「積算」や計画的に工事を進めていくための「予算要求」や「予算管理」です。配属当初は、周りについて行けず圧倒されていましたが、少しずつですが仕事に慣れてきました。現在は、1日でも早く自分の手で事業を動かせるようになるために日々奮闘しています！

四国地方整備局では、四国をより良くするために様々なインフラ整備を行っています！各々が大きな役割を担っていて、とてもやりがいのある良い職場です！「四国をより良くしたい」、「四国の活性化に貢献したい」、そんな皆さんを職員一同、心待ちにしています。是非一緒に働きましょう！

四国と世界が繋がる魅力がここにある！



高松港湾空港技術調整事務所
建設管理官
竹田 晃

四国地方においては、逼迫する南海トラフ地震等に対する防災・減災対策が喫緊の課題になっています。また、日本全体に目を向けると、人口減少や少子高齢化社会に備えて、建設産業の生産性向上や循環型システムを目指した技術開発が大切になっています。さらに世界に目を向けると、国際競争力の強化、資源・エネルギー等の安定的な輸入への対応、大型化するクルーズ船への対応も大切になっています。

私の仕事は、このような社会ニーズに対応するため、四国地方の社会基盤を支える港湾の岸壁や防波堤、海岸施設の設計を担当しています。時には、工学的に解くことが難しい課題に向き合うこともあります。その中で、解決の糸口が見出せた時は、何ものにも代えがたい喜びがあります。

港湾は、日本と世界を結ぶ重要な役割を果たしています。四国をフィールドにしつつ、日本と世界の人や物と繋がりのある仕事を一緒にしましょう。

人を作り社会を作り上げる



松山港湾・空港整備事務所
総務課長
千葉 桂子

松山港湾・空港整備事務所総務課では、東予港、松山港、来島海峡航路、四国西南航路、松山空港及び海洋環境整備事業にかかる事業費予算管理、必要となる物品の購入などの契約事務手続き、事務所イベントなどの広報、事務所職員の福利厚生等様々なことを行っています。

事務所の事務は、非常に多岐にわたっており、スムーズに業務を遂行するためには広範囲の専門知識も身につけてはあげませんが、少数ながら日々頑張っています。

大変なのは、いくら専門知識だけを身につけても、事務所が担わなければならない数々の事業を前に進めていくことはできないということです。一朝一夕でできることはありませんが、日頃のコミュニケーションなど職員ができるだけ仕事がしやすい雰囲気作り、環境整備も大事な仕事です。そして、そうやって間接的にですが社会のインフラ整備に関わっています。

小さい仕事の積み重ねが、人を作り、社会を作り上げていく。その一員になってみませんか？

大きな仕事に大きな達成感



総務部
経理調達課 係員
元木 公一

現在、私は契約業務を担当しています。一口に契約といっても幅広く、日々の業務で職員が使用するボールペンのような物品購入から、工事契約まで取り扱っています。

契約業務は様々な法律に関する知識が必要で、同じ条文を読んでも、職員間でさえ、捉え方が違うことも多々あり、日々勉強です。

工事契約については、国の直轄事業に携わることが出来る反面、採用当初はその金額の大きさに驚き、契約のシステムに金額を入力するのもおっかなびっくりでした。しかし、自分が契約を担当していた工事が無事完了し、その現場を見た時には、大きな達成感がありました。

目に見えて変化がわかるスケールの大きい公共工事に携わることが出来るのは、国土交通省、四国地方整備局の大きな魅力であると感じています。

国民の生活基盤を直接支えることが出来る、この四国地方整備局で共に働きましょう。

より住みやすい四国を作っていきます！



小松島港湾・空港整備事務所
総務課 品質管理係長
井手上 智仁

当事務所では、徳島県における港湾・海岸・海洋環境整備事業を行っています。その中で私は、公共事業発注にあたっての入札・契約事務を主に担当しています。

入札・契約事務というと難しそうですが、私一人で仕事をするのではなく、上司・部下や関係各課など多くの方々や相談しながら、日々の仕事を進めています。

パソコンの前で作業する時間も多のですが、工事現場に行ったり、会議に出席したり、研修を受講したりと、色々な場所で色々な経験をすることができています。

四国地方整備局では、防災や地域活性化、環境対策など様々な事業を行っています。困難な問題にぶつかることもあります。が、やりがいを持って仕事ができます。

私たちと一緒に、より住みやすい四国を作っていきます！

仕事をプライベートを両立！



小松島港湾・空港整備事務所
総務課 係員
宮本 郁

私が勤務している、小松島港湾・空港整備事務所は、全職員39名という小さな事務所です。その中で、女性職員は8名と、女性が比較的少ない職場ではありますが、私自身は、働きづらいと感じたことはありません。女性が少ないからこそ、職場環境について、女性のちょっとした意見を尊重してください。

また、レクリエーションも多く、人脈が広がりやすいのも、魅力のひとつだと感じています。

業務に関しては、男女平等で、上司の方も、いち係員の意見もきちんと聞いてくださいます。私は、少額の契約業務と、物品管理、経理業務を担当しているのですが、毎日色々な経験を積むことが出来、たくさんの知識を吸収する機会も豊富です。また、休暇も取りやすいので、メリハリをつけて働くことが出来ます。自分の意欲次第で、多様な働き方を実現することが可能な職場だと考えています。キャリアアップを目指している方も、仕事とプライベートの両立を目指している方も、ぜひ一度、私たちと同じ職場で働いてみませんか。

女性の活躍

四国地方整備局では、男性職員だけでなく、女性職員も様々な場所で活躍しています。

最近では、女性職員の採用数が増え、女性の活躍の場は、これまで以上に広がっています！

職場の方々のご理解に感謝！



高松港湾・空港整備事務所
沿岸防災調査官
田村 純子

私は現在、小学校2年生(7才)の男の子と年中(5才)の女の子の子育てをしながら、仕事をしています。出産の際は、産前、産後休暇を取得し、さらに育児休業を1人目の時は1年半、2人目の時は1年間取得しました。仕事復帰後も子供が急に熱を出したときは、看護休暇などで対応しています。

現在の仕事は、防災関係の仕事をしています。実際、地震や台風などの災害が発生した時に主務になる係で、通常は防災訓練や防災機器の訓練などを実施して備えています。また、港湾施設(岸壁や防波堤など)の維持管理に関する仕事も港湾管理者(県や市)と協議しながら行っています。今は、仕事と子育てを両立するために職場の方々にご理解頂き、残業なしの環境で働かせてもらっています。

仕事をしながら子育てするのは大変ですが、私たちの職場は、福利厚生が充実しています。年々、女性職員の数も増えているので、男性も含めて制度を利用しやすい環境になればと思っています。ぜひ、四国地方整備局に興味がある方は、覗いてみて下さい。



職員の一日

四国地方整備局で働いている先輩職員のある1日を追ってみました。
未来の自分を重ねてみませんか？

四国ならではの港湾整備、きっと面白い仕事ができる！



港湾、空港の整備を進める仕事をしています。具体的には、高松港、備讃瀬戸航路、高松空港の事業実施に必要な資料の作成及び設計、調査の発注・監督を行っています。

港湾の整備は、物流拠点、防災拠点、人々の憩いの場など、港湾の多岐に渡る重要な役割を果たすために欠かせないものです。また、四国は海に囲まれ、地域によって気象、海象、文化、人柄が異なり、実施している事業も様々です。きっと面白い仕事 awaits していると思います。人々の暮らしや、国と地域の経済を支えるために一緒にプロジェクトに携わってみませんか？

高松港湾・空港整備事務所
工務課 工務係
鈴木 理恵

8:30



(出勤)

おはようございます。
通勤は車で15分。今日も頑張ろう～！

12:00



(現場)

メールチェックを済ませ、すぐ現場へ！
今日の作業も順調です。



(昼休み)

お昼は事務所の女性たちとわいわい。1日の楽しみの一つです。



(打合せ)

設計の意向について工事担当課に説明。連携して業務を進めています。



(資料作成)

発注に必要な図面を作成。大変だけど頑張ろう！



(ひといき)

ちょっとコーヒープレイク。あともう少し頑張って早く帰ろう！

17:15



(退庁)

今日は課内の親睦会！お先に失礼します。

"ものづくり"を肌で感じられる！



私は、海の玄関口、高知港の防波堤や海岸、高知空港を整備する事務所の工務課というところで工事や業務に係る予算の管理をしています。その他にも、工事の発注や積算をしたり、技術会議など各種会議にて施工方法や設計の検討をしています。

また、デスクワークだけでなく、港湾業務艇で防波堤などの海上の現場へ行くことや、空港の現場へ出かけていくこともあります。

技官にも様々な職種がありますが、デスクワークでパソコンや図面との睨めっこばかりでは無く、現場にも出て行き、毎日たくさん学びと発見があるのが技術系職員の魅力です。一つの工事の規模が大きいため、土木工事における"ものづくり"を肌で感じることができます。

高知港湾・空港整備事務所
工務課 工務係
吉松 美南

8:30



(朝刊チェック)

朝の新聞チェック。地域情報や国土交通省、防災など我々の仕事に直接関連するような記事をスクラップします。



(資料、図面作成)

会議資料を作成したり、CADのソフトを用いて防波堤の施工図を作成したりしています。



(積算説明)

事務所で発注する工事の積算をしたら、副所長に積算の内容や根拠について説明をします。



(お昼休み)

ガールズトークをしながら、楽しいランチタイムです。



(現場確認)

午後からは高知新港の現場に出て、工事の進捗や安全に作業ができていないかをパトロールします。これはケーソン製作の現場です。



(上司からの指導)

作成した資料を上司に提出し、アドバイスを受けます。

17:15



(退庁)

会議日程の確認や出席者の調整が完了したら、翌日の準備をして忙しい一日のおしまいです。

四国地方整備局 港湾空港部に関する情報は、港湾事業企画課まで

TEL ; 087-811-8331

四国地方整備局の採用情報に関しては、以下のURLをご確認ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/recruit/index.html>